

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【所管課:生涯教育課評価用】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価項目		評価視点	評価区分
1	施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	良
2	利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	可
3	施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4	情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	可
5	災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6	地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

- (1) 地域の方々とのコミュニケーションを図るため、園児を対象とした抹茶サービス、アクリルたわしを作りながら高齢者との茶話会を実施するなど、地域の絆づくりにつながる事業を実施することができた。
- (2) 5人(9月までは6人)の管理人がそれぞれの得意分野を活かし、自主事業の実施、館内の清掃活動、花壇整備、パソコンを活用した情報の整理を行っている。
- (3) 年2回全員参加で消防訓練を実施し、危機管理意識を強く持ち、有事に備えた活動を積極的に行った。また、AEDの講習を受け、緊急時に慌てず対応ができるように備えている。
- (4) 南町民センターをより多くの人に活用してもらうため、町内のボランティア団体等に積極的に声をかけ、わいわい茶話会など、イベントの誘致を行った。

【委員会の意見】

- 1) 協定書及び仕様書、事業計画書に基づいた管理運営がなされており、所管課の評価を基本的に承認する。ただし、評価項目1「施設の維持管理」については、花壇の整備など、指定管理者の女性視点による細やかな管理が行き届いており、「可」から「良」に変更する。
- 2) 自主事業を積極的に行い、地域密着型の団体として地域住民の方々との連携・交流の場を設け、コミュニケーションを積極的に図って見える姿勢は、大いに評価できる。
- 3) 新公民館完成に伴い、利用者が減少する心配があったものの、町内の他の町民センターが軒並み前年度対比「減」という結果のなか、利用者数・利用件数ともに増加させたことは、非常に評価できる。
- 4) 今後とも、地域住民の交流の場・憩いの場として、自主事業や地域住民と連携した活動を通して、継続して指定管理に当たってもらうことを期待したい。